

みんなで「こども館」をつくろう！ 建築・デザインワークショップを開催！



こども館（仮称）づくりの流れ

①キックオフ・フォーラム

②関係団体ヒアリング

③プレワークショップ

④建築デザインワークショップ

第1回 知る 平成24年9月9日(日)

第2回 考える 平成24年9月30日(日)

第3回 描く 平成24年11月18日(日)

第4回 まとめる 平成24年12月8日(土)

⑤展示公開型パブリック・コメント

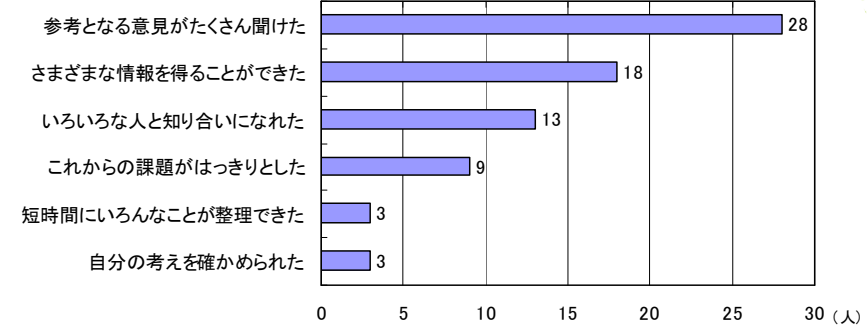
⑥実践子ども学レクチャー

建築デザインワークショップは、キックオフ・フォーラム、プレワークショップで聞いた住民の意見や関連機関ヒアリングをもとに、建築家や専門家とともに、こども館（仮称）の基本計画や設計に役立てようという目的で開催していきます。

9月9日(日)福祉センターで、40人の参加者と「那珂川町こども館（仮称）づくり第1回建築デザインワークショップ」を開催しました。第1回は、「知る」というテーマでワークショップを行いました。こども館づくりは、那珂川町に住民参画条例（平成23年4月1日施行）ができて初めての建築系住民参加の取り組みです。まだ基本計画も、設計図もありません。これから、住民のみなさんと一緒にこども館づくりを進めます。

参加者アンケート結果

ワークショップをやって気がついたことは？



参加してくれて
ありがとう～

みんなの思いが
カタチになる・・・

自由意見（一部抜粋）

いろいろな分野の人たちと意見を交わすことで、楽しく関わっていきこうという気持ちが出てきました

目黒先生のご意見がものすごく納得できるものでした

子どもも大人も安心して利用できる施設をぜひ作ってほしい

こんなに町内に子育てや地域のことに深く考えている人たちがたくさんいらっしゃることに驚きました

人まかせでなく自分の意見もきいてもらえる施設ができるのが楽しみだ。もっと、町のことに参加できるといいなあと思いました

建物1つを建てるにしても条件設定など大変だと感じました

継続して参加していくことで、みんなの意見が整理していけると思いました

まだまだこれからなので、明確なビジョンは出来ていませんが多くの可能性があるのでは、本当に良い物を作りたい

次回のお知らせ

日時：9月30日(日) 10:00～(2時間程度)

場所：ミリカローデン那珂川

今回は、「考える」というテーマで、こども館の建設予定地を見ながら、利用形態を洗い出し、詳細な機能、部屋の配置を考えます。

どの回からも自由に参加できますので、参加希望者は子育て支援課にご連絡ください。

お問い合わせ先 那珂川町役場 子育て支援課 TEL (092) 953-2211 (代表)

こども館の利用イメージを高める(一部抜粋)

次に、こども館の利用イメージを考えるために、こども館を想定した1日のスケジュール表を書いてみました。

1班

平日
不登校の子ども達が集まれるような施設が欲しい。

休日
小学生クッキングや手作り工作等いろいろな体験を。

2班

休日
父親と子どもと一緒に遊べる野外イベントをしたい。

空間イメージ
オープンスペースは、壁をなくし見渡せる空間がいい。

3班

平日
保育士さんと歌遊びやリズム遊び、本の読み聞かせ。

休日
親子ドッチボール。

キャッチフレーズ
安全で 親子で 楽しく 学べる

4班

平日
食育講座、離乳食づくり。仕事終わりのオヤジの集い。

休日
イクメン講座。お父さんと遊ぼう、お母さんの自由時間。

5班

平日
子育て相談。物作り、工作、絵を地域の人から教える。

休日
農作物の手入れをし、自分たちで作ったもので調理実習。

6班

平日
お年寄りとの会話の中から子育てアドバイス。

休日
お爺ちゃん、お婆ちゃんに手芸や遊びを覚えてもらう。

空間イメージ
縁側のある風景が望ましい。

7班

平日
親子で参加するリズム遊びベビーマッサージ教室。

空間イメージ
中高生の利用ができるフリースペース。

目黒先生のコメント

新しい建物の内と外をつまっとないで、芝生や樹木などを活かした美しいグリーンを創造して欲しい。夕方5時や6時には子どもは帰らなければいけない。となると、ここからはボランティア講座など、大人の居場所にもなり得る。ネーミングもまだ決まっていなけれど、とっても重要となってきます。情熱を持ち続けて、ぜひ素敵なこども館を作りましょう



こども館づくりの条件

まず、こども館を考える前提や条件、キックオフ・フォーラム、プレワークショップで出た意見を説明しました。その説明を受けて感じたことや分からないことなど、参加者同士で話し合い、こども館のイメージを広げていきました。

どうしてこども館をつくるの？

町は子育て支援に力を入れています。人口が増え、利用者の要求が多様化する中で「子育て支援センターすくすく」が手狭になっています。また、町に子どものための施設が「恵子児童館」しかないため、より充実した子育て支援環境の整備を目指して、計画しました。

どこに建てるの？

ミリカローデン敷地内を予定しています。建設にあたり、中庭や噴水、植栽や周辺との関係に配慮して計画します。予算は、3億7千万円（総事業費）で、平成26年開館を予定しています。

こども館では何ができるの？

子育て支援センターと児童館の機能を持つ施設を考えています。子育て支援センターすくすくは、新しく建てるこども館に移行します。恵子児童館は現状のまま運営を続けます。予定している部屋はプレイルーム・イベントホール・相談室・アリーナなどです。

住民参画ってどうやって進めるの？

建築デザインワークショップで住民のみなさんの意見を聞かせてもらい、住民の意見を参考に専門家や建築家が基本計画案や設計案を作っていきます。そして、基本計画案や設計の素案を住民のみなさんに公開して意見・アイデアを受け付けて、さらに計画に反映させることになっています。



ピロティ形式で建てて、1階部分を開放的に！
 なんてどうかなあ？

楽しい水辺があったら良いよねえ

美しい山並みを借景にして、緑を活かしてはどうかあ？

参加者のみなさんのつぶやき

雨に濡れないでミリカローデン本館に移動できればなあ

プールへの通路があると便利だねえ

